

イレッサの治療を受けられる方へ



患者ID: @PATIENTID

患者氏名(@PATIENTNAME)様

患者様用入院診療計画書

担当医師()

担当看護師()

病日経過	治療前	年月日	2日目 /	3日目 /	4日目 /	5日目 /	6日目 /	7日目 /	8日目 /	9日目 /	10日目 /	11日目 /	12日目 /	13日目 /	14日目 /
達成目標	◆イレッサの説明を受けることができる	◆治療、副作用について理解できる ◆確実な内服ができる ◆副作用が早期に発見できる	◆吐き気なく過ごすことができる ◆確実な内服ができる ◆皮膚の状態が良好である ◆副作用が早期に発見できる										◆退院後の治療や注意事項が理解できる		
治療・薬剤			13時にお薬(イレッサ)を看護師が配薬します。										退院後について不安なことがあればいつでも相談してください		
検査	・検査がある場合、前日に説明があります。	適宜検査が入ることがあります。		採血 レントゲン										採血 レントゲン	
安静・活動		特に制限はありません。	食事で困ることがあれば、いつでも栄養科に相談いたします。遠慮なくスタッフにお伝えください。												
栄養		特に制限はありません。ただし、治療食の指示がある方は、治療食になります。													
清潔		特に制限はありません。ただし、熱があるときには、入浴は控えましょう。													
排泄		特に制限はありません。													
教育指導説明	・治療前に薬剤師より薬の説明があります。	☆治療による副作用													《退院後について》
	・看護師より口腔ケアやスキンケアについて説明があります。	発疹 発疹が、主に顔や上半身などに現れます。また皮膚の乾燥や痒みが現われます。予防的に保湿剤を使用し皮膚の保清に努めましょう。発疹が現われた際は皮膚科に診察依頼し、塗り薬で対応します。												・毎日のイレッサ内服時間は、自分の生活スタイルに合わせて決めていきましょう。できるだけ食後に飲みましょう。基本的に砕いたり嚙んだりせずに飲んでください。	
	疑問や不安な点がありましたら、スタッフにお伝え下さい。	下痢 下痢がある場合は、水分補給を十分に行い、早めにお知らせください。整腸剤や下痢止めを使って対応します。												・イレッサを他のお薬と一緒に飲むときは、医師に確認しましょう。	
		爪の障害 爪周囲が赤くはれて激しく痛むことがあります。爪周囲に変化があれば早めにお知らせください。												・左の副作用については、退院された後も引き続き、注意しましょう。	
		悪心・嘔吐 食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分をとりましょう。												・退院後も口腔ケアやスキンケアを心がけましょう。	
		肝機能低下 体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。												・副作用症状がみられた場合や気になる症状が現れた時は、すぐに病院に連絡し、医師の指示を受けましょう。	
		口内炎 口の中が荒れて痛みが出る場合があります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。												・次回外来受診について説明を行います。	
	倦怠感 疲れる、だるい、身体が重いといった症状が現れる事があります。無理せず体を十分に休め、体力を保つようにしましょう。												次回外来日: 月 日		
		* 上の表は副作用の出やすい時期の目安を表示しています。必ずこの通りになるとは限りません。矢印のないものは2週間後など出現時期の遅いものです。 * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。 * 気になることがあれば、看護師か医者にお知らせください。 * このお薬は毎日続けて飲むことが大切です。毎日時間を決めて、忘れずに飲むようにしましょう。													
		* このお薬を服用中に風邪のような症状(息切れ、呼吸がしにくい、咳及び発熱等)が現れた時は、間質性肺炎の副作用が出現している可能性があります。早急に対処が必要ですので必ず看護師にお知らせください。													